

# 1. ごみ処理の現状

## (1) 家庭系ごみの排出量

本市においては、平成 23 年度～平成 27 年度を計画期間とした、ごみ処理基本計画に基づき、「古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の行政回収」や「使用済小型家電・衣類の回収」を実施するなど、さまざまな施策に取り組んできましたが、家庭系ごみの排出状況は全国及び県内において低迷している状況です。

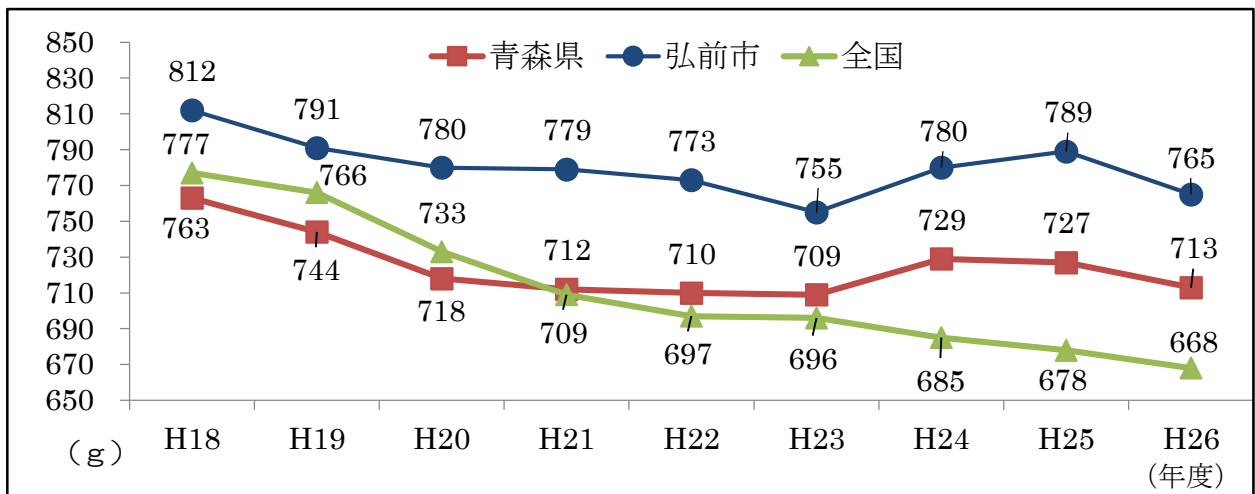


図 1 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量の推移

## (2) ごみ処理基本計画における目標値

低迷する現状からの早期脱却を図るため、平成 28 年 4 月に策定した「一般廃棄物処理基本計画」において、1人1日当たりのごみ排出量などの目標値を設定し、ごみの減量化・資源化の推進にこれまで以上に積極的に取り組んでいくこととしています。

1人1日当たりの家庭系ごみ排出量については、平成 32 年度までに 109g の減量、平成 37 年度までに 119g の減量を目標としています。他の施策の実施のみでは、目標値の達成が困難な状況となっています。

表 1 一般廃棄物処理基本計画（計画期間：H28～37）における目標値

項目		年度	H25 年度 (基準年度)	H32 年度 (中間年度)	H37 年度 (目標年度)
1人1日当たりのごみ排出量	目標値		1,310g	980g	950g
	基準年度との差		-	-330g	-360g
うち 家庭系ごみ	目標値		789g	680g	670g
	基準年度との差		-	-109g	-119g

### (3) ごみ処理経費

#### ①実績

ごみ処理経費は、ごみ収集や焼却・資源化、埋立処分などにかかる経費で、平成 26 年度は約 32 億円と、一般会計額約 816 億円の約 3.9%を占めています。

市民 1 人当たりによると年間約 18,000 円を負担していることになり、今後の人口減少傾向などにより、追加で施策を講じなければ、1 人当たりのごみ処理経費は増大してくことが予想されます。

表 2 ごみ処理経費の推移

(単位：千円)

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
収集運搬費	805,033	721,243	709,280	683,589	649,780
焼却処理費	1,959,409	2,093,233	2,205,108	2,157,652	2,040,425
容器包装処理費	160,448	170,884	189,662	188,456	178,330
不燃・大型ごみ処理費	164,696	181,107	193,040	222,658	184,218
埋立処分費	100,894	116,609	122,942	137,865	167,370
合計	3,190,480	3,283,076	3,420,032	3,390,220	3,220,123

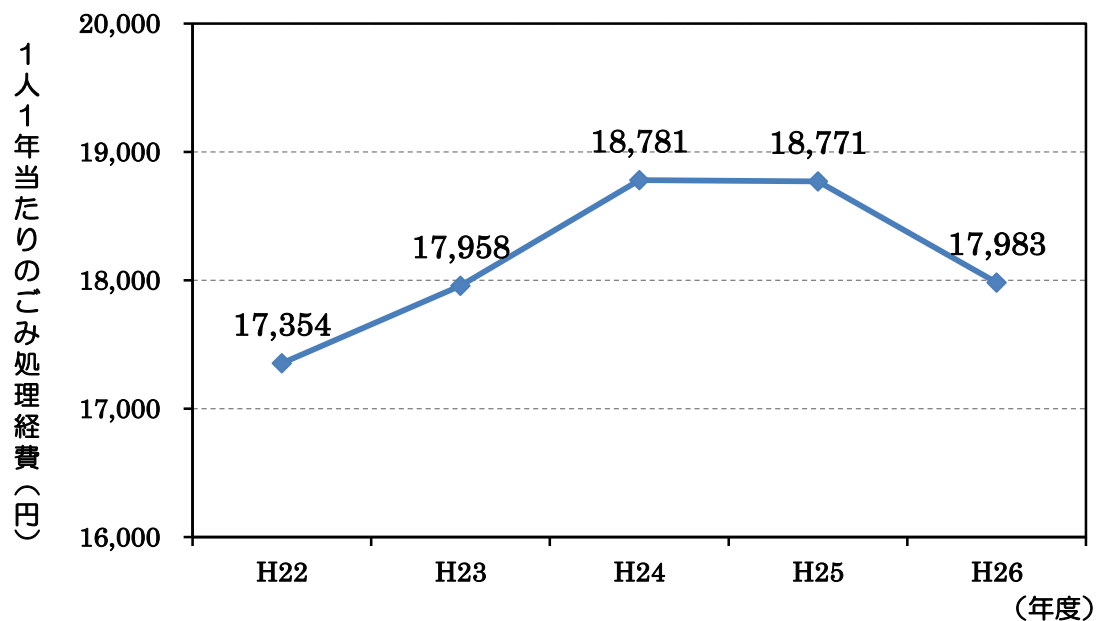


図 2 1 人 1 年当たりのごみ処理経費の推移

※平成 26 年度の 1 人 1 年当たりのごみ処理経費の減少は、ごみ収集運搬業務の全面民間委託や弘前地区環境整備センターの焼却灰再資源化施設の廃止によるもの。

## ②廃棄物処理システムによる比較評価

国が公表している「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」を用いて、平成24年度（最新）の本市のごみ処理状況について、全国の類似の人口規模（人口10～20万人）、産業構造の38市との比較評価を行った結果、「1人1日当たりのごみ排出量」、「1人1年当たりのごみ処理経費」共に平均より約2割多くなっています。

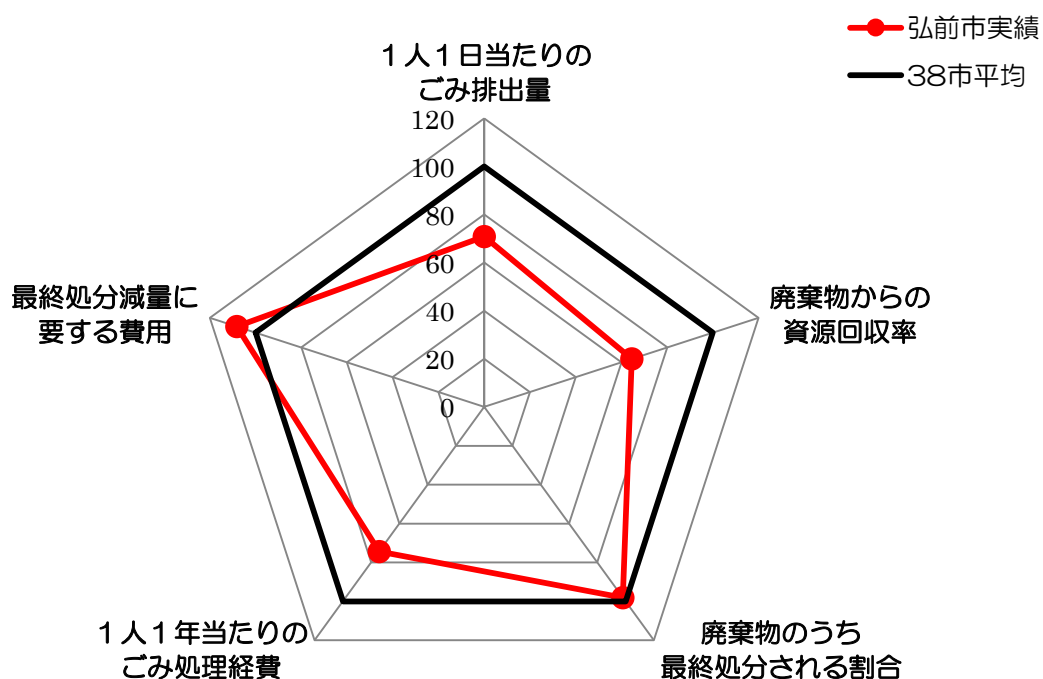


図3 指数値によるレーダーチャート

※指数値100が平均であるため、指数値100（太枠）以上が「良好」な状態となる。  
（ごみ排出量やごみ処理経費が少ないほど「良好」となる。）